

講師プロフィール



ヒュンソン・シン 氏 (プリンストン大学 経済学部 教授)

1985年オックスフォード大学卒業。1988年オックスフォード大学経済学博士。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス教授等を経て2006年より現職。金融機関論、情報開示、リスク管理、金融安定化政策などの問題について学術誌および実務家向けに幅広く執筆。このほか、イングランド銀行アドバイザー、国際通貨基金(IMF)レジデントスカラーを歴任し、現在はニューヨーク連銀アドバイザーを務める。



大村 敬一 氏 (早稲田大学大学院 ファイナンス研究科 教授)

1972年慶応義塾大学商学部卒業。1981年同経済学研究科博士課程単位修了。経済学博士。法政大学経済学部教授、早稲田大学商学部教授、内閣府(経済財政)官房審議官を経て現職。この間、マサチューセッツ工科大学、ミシガン大学、ニューヨーク大学で客員研究員、大蔵省財務総合政策研究所特別研究官、公認会計士試験委員、早稲田大学大学院ファイナンス研究科長、日本ファイナンス学会会長などを務める。



丸山 純一 氏 (金融庁 総務企画局 審議官(国際担当))

1977年東京大学法学部卒業。同年大蔵省入省後、米国プリンストン大学留学(1979~81年)、在米国日本大使館一等書記官、欧州復興開発銀行(EBRD)中央アジア局長、財務省国際局(大蔵省国際金融局)為替資金課長、同総務課長、外務省欧州局審議官などを経て現在に至る。現職では、金融安定化フォーラム(FSF)、バーゼル委員会、証券監督者国際機構(IOSCO)などに、金融庁を代表して出席。



中曽 宏 氏 (日本銀行 理事)

1978年東京大学経済学部卒業、日本銀行入行。通商産業省(現経済産業省)出向、ロンドン事務所勤務を経て、1993年から信用機構局。1997年からは同信用機構課長として日本の金融危機に対応。2000年6月より1年間国際決済銀行(BIS)へ転出。2001年6月金融市場局兼国際局参事役、2003年5月金融市場局長に就任。2006年6月より国際決済銀行市場委員会議長を兼任。2008年11月より日本銀行理事。



北山 慶 氏 (ムーディーズ・ジャパン 代表取締役)

一橋大学商学部卒業。ニューヨーク大学スターン経営大学院にてMBA取得。日本長期信用銀行を経て、1998年ムーディーズ ジャパン(株)に入社。主に不動産流動化、証券化格付、J-REIT格付を担当し、シニアバイスプレジデント、マネージング・ディレクターを歴任ののち、2004年12月に代表取締役に就任。同社ストラクチャード・ファイナンス・グループのマネージング・ディレクターも兼務。



西口 健二 氏 (三井住友銀行 リスク統括部 オペレーションリスク管理室長)

1981年京都大学卒業。1984年大阪大学理学部数学科助手(1987年博士)を経て、1989年三井銀行(現三井住友銀行)入行。2001年統合リスク管理部副部長、2005年総務部オペレーションリスク管理室長、2009年4月より現職。1998年ニューヨーク連銀主催国際会議「岐路にたつ金融サービス、21世紀の自己資本規制」で発表(Economic Policy of NY FRB、1998年に論文掲載)。